

立竹木補償調査算定システム



TR

Ver 2.2

操作マニュアル

立竹木補償額算定書
立竹木補償料総括表
立竹木補償単価認定書

用材林調査表
用材林補償額算定書

当操作マニュアルとプログラムの機能との間に差異がある場合には、プログラムの機能の方を優先します。

本製品の一部または全部を「株式会社ユーアイ技術情報」の書面による許可なく複写・複製することは、その形態を問わず禁じます。

当プログラムの機能およびマニュアルの内容は、予告なく変更することがあります。

Windows は米国マイクロソフト社の登録商標です。

当操作マニュアルは Word を使用して作成しています。

Word および EXCEL は米国マイクロソフト社の登録商標です。

本製品は、下記の開発環境を使用しています。

Microsoft Visual Basic 6.0

株式会社グレースィティ社 VS-VIEW_{TM} Ver 8.0J

株式会社グレースィティ社 SPREAD^R Ver 6.0J

株式会社ユーアイ技術情報 システムライブラリ

| | |
|---------------------------|----|
| 1 . 概 要 ----- | 1 |
| 1.1 主な機能 ----- | 1 |
| 1.2 対象コンピュータ ----- | 1 |
| 2 . データ入力方法 ----- | 2 |
| 2.1 オープニング画面 ----- | 2 |
| 2.2 主メニュー画面 ----- | 3 |
| 2.3 ユーザデータ登録画面 ----- | 4 |
| 2.4 一般データ画面 ----- | 5 |
| 2.5 庭木データ画面 ----- | 6 |
| 2.6 地被類等（旧・草花）データ画面 ----- | 9 |
| 2.7 用材林データ画面 ----- | 10 |
| 2.8 竹林データ画面 ----- | 12 |
| 2.9 その他樹木データ画面 ----- | 13 |
| 2.10 植込畑のデータ画面 ----- | 14 |
| 2.10.1 仮植立木データ画面 ----- | 14 |
| 2.10.2 育成畑データ画面 ----- | 15 |
| 2.10.3 床物・苗木類データ画面 ----- | 16 |
| 2.11 収穫樹データ画面 ----- | 17 |
| 2.12 茶データ画面 ----- | 18 |
| 3 . 印刷帳票 ----- | 19 |
| 立竹木補償単価認定書について ----- | 23 |
| 4 . 機能とその変遷 ----- | 24 |

1 概 要

1.1 主な機能

- 補償費の算定有無を樹木ごとに指定できます。
- 各樹木のデータ件数は最大300件入力できます。
- 庭木の枯損率を樹木毎に指定できます。また、樹木毎の枯損率で自動計算ができます。
- 庭木で単価表に*印が付いている樹木、あるいは生垣に付いては、「廃材処分費を加算する場合の伐採補償費」を計算し、認定書に出力します。
- 庭木で単価表が空欄の樹木に付いては自動的に単価を計算します。またその結果、補償費が「伐採」で決定された場合には、更に上記の項目「廃材処分費を加算する場合の伐採補償費」を計算します。
- 樹種の多い一般庭木では頭文字検索ができ、入力が容易に行えます。
- 一般庭木の準用データ（強制樹）の登録・参照が行えます。
- 用材林、その他樹木の樹木名を最大250件登録できます。
- 地区補正率の計算に対応しています。
- 地区補正計算、諸経費計の計算を内訳毎に計算または、総額に対して計算するかを指定できます。
- 補償額等の端数処理（小数以下の処理）は「四捨五入」、「切捨て」を指定できます。
- ユーザ毎に調査者名を登録できます。
- 各樹木データの入力画面で行単位の編集処理（複写や移動）が行えます。
- 算定結果はマイクロソフト社のEXCELへ出力（エクスポート）しますので、算定後の編集や印刷様式設定等を自由に行えます。

1.2 対象コンピュータ

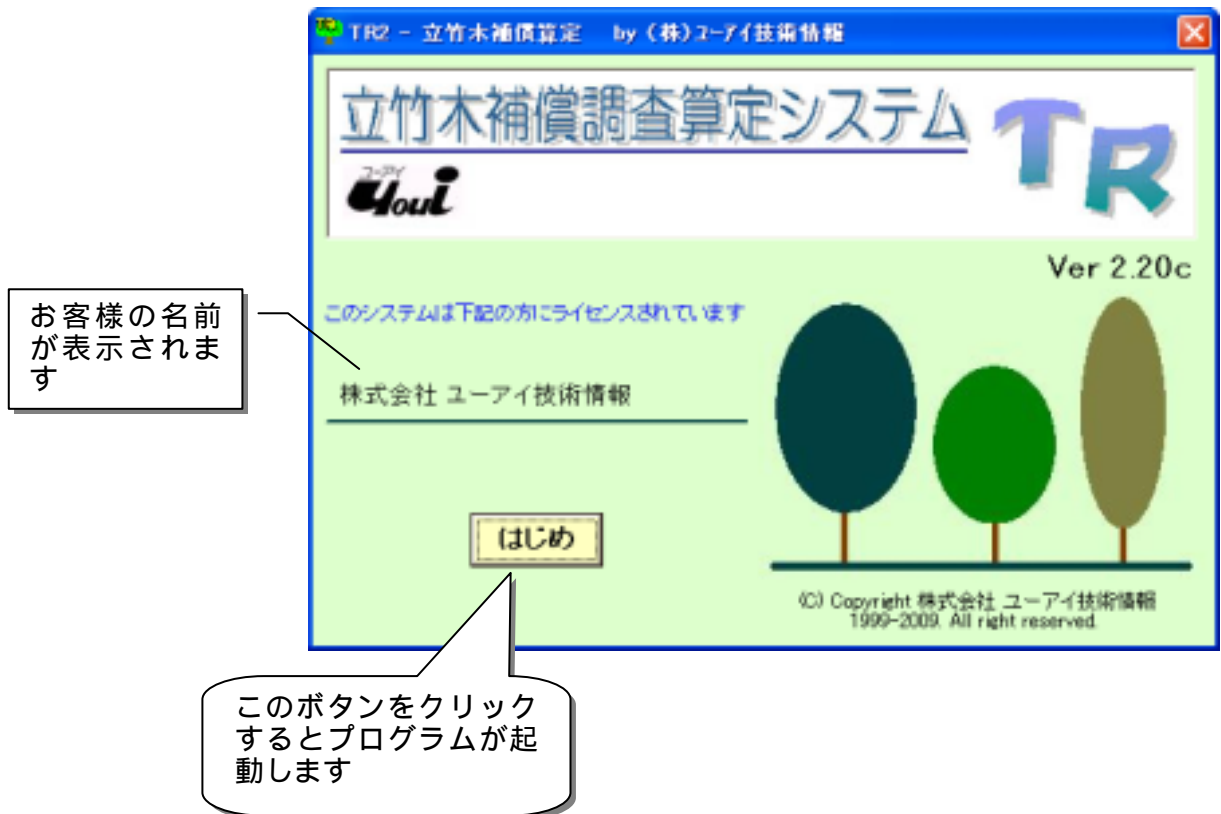
対象とするコンピュータは、Windows98 Se、Me、2000、XPが動作するコンピュータです。各ハードウェアの仕様は下表以上を推奨します。

| 機 種 | 仕 様 | 備 考 |
|---------------|--|-----|
| コンピュータ 本 体 | CPU：Pentium 133MHz以上推奨 メモリ：64MB以上推奨 HDD空き：50MB以上 | |
| ディスプレイ | 1024×768ドット以上 | |
| レーザープリンタ | A4サイズ以上 | |

2 データ入力方法

2.1 オープニング画面

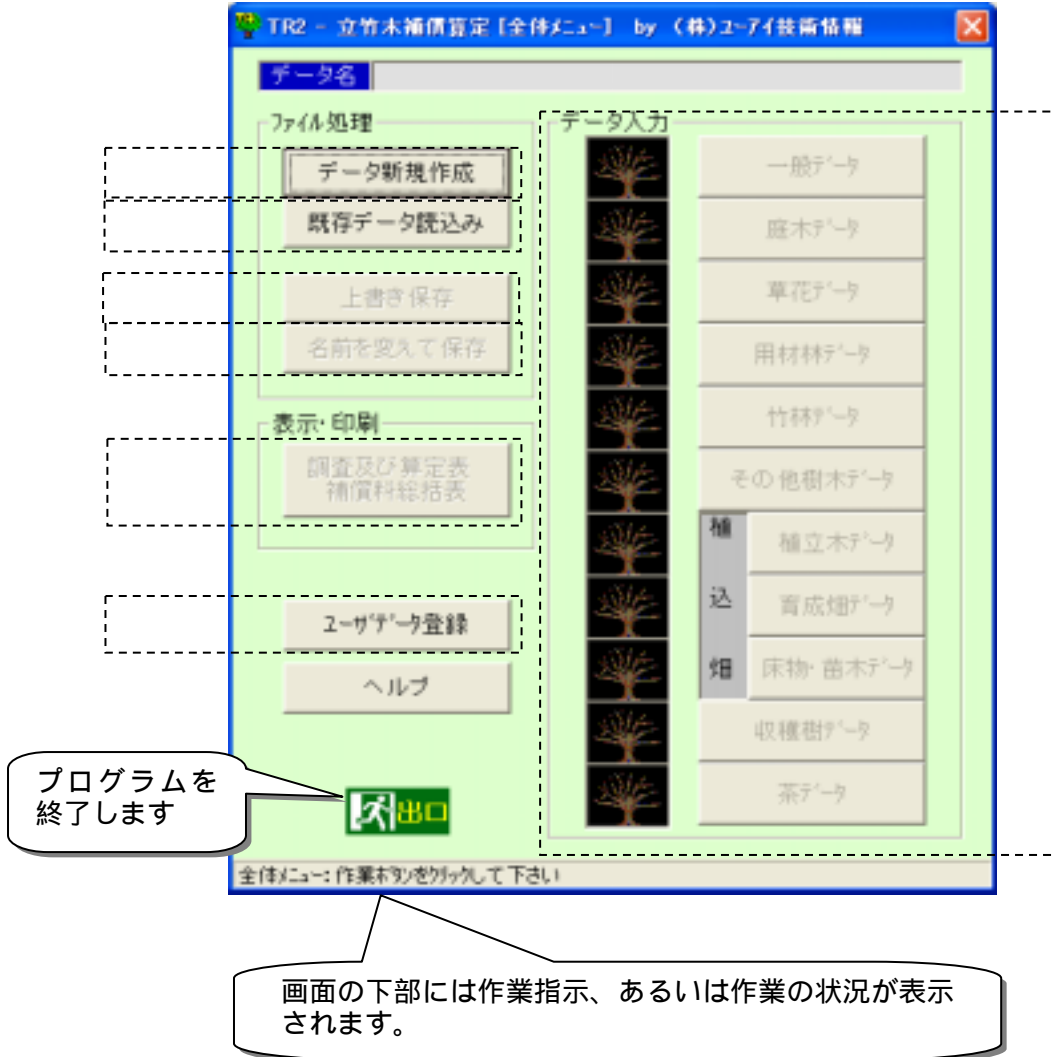
当画面はプログラムの起動時に表示されます。中止したい場合には右肩の[×]アイコンをクリックします。



2.2

主メニュー画面

当システムの全ての作業を指示する画面です。起動直後は使用できる機能のボタンのみが使用可能状態になっています。

**データ新規作成**

新規データの作成時にクリックします。この時全ての入力データは初期化（0, ブランク, 既定値にセット）されます。

既存データ読み込み

既に入力済みのデータを読み込みます。

上書き保存

入力データのファイル名を変更せずに保存します。

名前を変えて保存

入力データのファイル名を変更して保存します。

調査及び算定表、補償料総括表

算定計算と算定結果をEXCELに出力（エクスポート）します。

ユーザデータ登録

調査者名などのユーザ固有のデータ登録を行います。

一般データおよび各樹木データの入力画面に移動します。

既存データ読みボタンをクリックしますと、下図画面（左）が表示されますので、読み込むデータを選択してください。データを読み込みますと、下図（右）のように、その入力データに入っていた木の種類のアイコンが開花状態（*）に変化します。



入力データを読み込んだ後の主メニュー画面（*）季節により花の種類が変わります。

2.3 ユーザデータ登録画面

右図が表示されますので、当システムの規定値や、作業環境を設定します。

対象地区をチェックしますと、規定値入力「地区」のリストに登録されます。



2.4 一般データ画面

立竹木調査算定の一般データを入力します。

The screenshot shows the 'TR2 - 一般データ入力' window with the following fields and callouts:

- 所有者名** (Owner Name): 山田太郎章. Callout: 所有者名を入力。ﾌﾞﾗﾝｸは不可.
- 整理番号** (Order Number): 6,7,8. Callout: 庭木のみ使用.
- 所有者住所** (Owner Address): 〇〇〇市〇〇〇123-45. Callout: 所有者の住所を入力。ﾌﾞﾗﾝｸは不可.
- 立木所在地** (Tree Location): 〇〇〇市〇〇〇123-45. Callout: 立竹木所在地を入力。ﾌﾞﾗﾝｸは不可.
- 調査者名** (Surveyor Name): ユーアイ製作. Callout: 登録済みの調査者名を選択.
- 調査日** (Survey Date): 平成 21/8/10. Callout: 調査年月日を入力。ﾌﾞﾗﾝｸは可.
- 使用する単価の年度** (Year of Unit Price): 平成 21. Callout: ここで指定した年度で算定.
- 年度版** (Edition): 地区別補正率の適用.
- 単価、金額計算** (Unit Price/Amount Calculation): あり なし. Callout: なしの場合は補償費の算定はしない.
- 消費税率** (Consumption Tax Rate): 5 %.
- 地区** (Region): 群馬. Callout: 単価計算を行う地区の指定.
- 移植形態** (Transplant Form): 構内移植 構外移植.
- 管理状況** (Management Status): 良い やや良い 普通.
- 枯損率** (Cannage Rate): 自動 指定 10 %.
- 庭木のみ使用** (Garden Trees Only Use): Callout: 庭木のみ使用.
- 廃材処分関連(平成17年度以降有効)** (Waste Disposal Related):
 - 処分場名: 〇〇広域廃材処理場
 - 1m³当たり廃材受入費: 5000 円
 - 運搬距離: 18 km
 - 1台当たり運搬単価: 7932 円
- 庭木のみ使用。自動：樹木の固有の枯損率で算定。指定：ここで指定した枯損率で一律算定** (Garden Trees Only Use. Automatic: Calculate with the tree's own cannage rate. Designated: Calculate uniformly with the designated cannage rate).
- 小計計算時の切り捨て単位** (Rounding Unit at Subtotal Calculation):
 - 消費税を掛ける前: 1円
 - 消費税を掛けた後: 100円
- 更新** (Update) button. Callout: データを更新.
- 戻る** (Back) button. Callout: 主メニュー画面へ戻る.
- 小計・合計の丸め指示** (Rounding Instruction for Subtotal/Total).

【注意】

前年度に作成したデータをそのまま利用して今年度の単価で再算定を行う場合、必ず、上図の「使用する単価の年度」データを今年度に更新してください。

2.5 庭木データ画面

(1) 庭木データ入力

庭木データを入力します。

樹木名選択
画面へ移動

入力データ保
存後、主メ
ニューに戻る

入力データを保
存せずに主メ
ニューに戻る

| 地番 | 地目 | 番号 | 樹木番号 | 樹木名 | 球群名 | 根廻り(幹周) 幹周(cm) | 樹高(幹高) 幹高(m) | 枝幅(葉張) 葉張(m) | 本数(長さ) 長さ(m) | 算入 | 移植(伐採) | 構内(構外) | 管理状況 | 枯損率(%) |
|----|----|----|-------|---------|-----|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------------------------------|--------|--------|------|--------|
| 1 | 1 | 1 | 80003 | あかまつ | | 7 | 1.00 | 0.00 | 1.00 | <input checked="" type="checkbox"/> | 移植 | 構外 | やや良い | 自動 |
| 2 | | 2 | 80819 | ぎんもくせい | | 5 | 1.10 | 0.50 | 0.00 | <input checked="" type="checkbox"/> | 移植 | 構外 | やや良い | 自動 |
| 3 | | 3 | 81128 | じんちょうげ | | 30 | 0.00 | 0.00 | 1.00 | <input checked="" type="checkbox"/> | 移植 | 構外 | やや良い | 自動 |
| 4 | | 4 | 89004 | まさき | | 30 | 1.00 | 0.00 | 1.00 | <input checked="" type="checkbox"/> | 移植 | 構外 | やや良い | 自動 |
| 5 | | 5 | 80707 | くぬぎ | | 15 | 0.00 | 2.00 | 1.00 | <input checked="" type="checkbox"/> | 移植 | 構外 | やや良い | 自動 |
| 6 | | 6 | 89808 | らんかんまき | | 24 | 0.50 | 2.00 | 1.00 | <input checked="" type="checkbox"/> | 移植 | 構外 | やや良い | 自動 |
| 7 | | 7 | 89020 | まめつげ玉 | | 0 | 0.00 | 0.00 | 1.00 | <input checked="" type="checkbox"/> | 移植 | 構外 | やや良い | 自動 |
| 8 | | 8 | 19000 | わじゆる | | 60 | 5.00 | 0.00 | 1.00 | <input checked="" type="checkbox"/> | 移植 | 構外 | やや良い | 自動 |
| 9 | | 9 | 80708 | くぬぎ | | 48 | 0.00 | 0.00 | 1.00 | <input checked="" type="checkbox"/> | 移植 | 構外 | やや良い | 自動 |
| 10 | | 10 | 88901 | りゅうせつらん | | 0 | 0.00 | 0.00 | 1.00 | <input checked="" type="checkbox"/> | 移植 | 構外 | やや良い | 自動 |
| 11 | | 11 | 89005 | まさき | | 0 | 1.00 | 0.00 | 1.00 | <input checked="" type="checkbox"/> | 移植 | 構外 | やや良い | 自動 |
| 12 | | 12 | 84105 | れんげつつじ | | 5 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | <input checked="" type="checkbox"/> | 移植 | 構外 | やや良い | 自動 |
| 13 | | 13 | | | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | 移植 | 構外 | 普通 | 自動 |

[地番] 樹木毎の地番を入力します。空白でもOKです。

[地目] 地番毎の地目を入力します。空白でもOKです。

[番号] 樹木毎の固有な番号です。樹木の種類に関わらず連番で入力して下さい。番号の重複、抜けはエラーチェックを行います。算定書の印刷は当番号順になります。

[樹木番号] 《樹木番号選択画面》で指定した樹木名が表示されます。直接樹木名を入力しなくてもマウスの操作で樹木を選択できます。空白は不可です。

[根廻り、幹周] 移植の場合は根本回りの値を、伐採の場合は胸高直径の値をcmで入力して下さい。0.0cmは不可です。

[樹高、幹高] 樹木の高さを入力して下さい。0.0mは可です。

[枝幅、葉張] 樹木の幅を入力して下さい。0.0mは可です。

[本数、長さ] 該当樹木の本数を入力して下さい。0本は不可です。

[算入] 一般データ入力画面で算入を指定した場合で、該当樹木のみ算入を行わない場合には当チェックボックスをoffにして下さい。

[移植、伐採] 伐採のデータのみ指定して下さい。

[構内・構外] 一般データ入力画面で指定した移植形態と異なる場合に指定します。

[管理状況] 一般データ入力画面で指定した管理状況と異なる場合に、樹木毎の管理状況をコンボボックスで選択して下さい。

[枯損率] 樹木毎に枯損率を変える場合に指定します。空白の場合のみ一般データの枯損率の指定が優先されます。

(2) 庭木樹木選択画面

庭木の樹木名の選択と強制樹木の選択 & 登録を行います。

[検索文字] 検索する樹木名を入力します。当データを入力することにより<樹木名>欄の表示が絞られます。

[樹木種類] <標準樹> <強制樹> の選択を行います。<強制樹> の場合は画面右側の項目の入力が必要になります。

[樹木名]

樹木種類が<標準樹>の場合

(社)日本補償コンサルタント協会 関東支部「損失補償算定標準書」「庭木類補償標準単価表樹木名」が表示されます。

樹木種類が<強制樹>の場合

お客様が登録した樹木名が表示されます。この時、先頭文字が[検索文字]の樹木名のみが表示されます。表示されている樹木名をマウスで選択して下さい。選択後に、[OK]ボタンで庭木データ画面に戻った場合は庭木データ画面の樹木番号欄に樹木番号が表示されます。

強制樹の場合は画面右側の下記データを入力します。

[樹木番号] 登録する強制樹木番号が自動表示されます。(ユーザ入力は不可です)

[樹木名] 登録する強制樹木名を入力します。

[種類] 樹木の種類をドロップダウンコンボボックスで選択します。選択できる種類は、「庭木」「株物」「生垣」「玉物」「特殊樹」の5種類と「常緑」「落葉」の2種類です。

[難易] 移植の難易度をドロップダウンコンボボックスで選択します。選択できる種類は、「易」「中」「やや難」「難」の4種類です。

[樹種] 樹木の種類をドロップダウンコンボボックスで選択します。選択できる種類は、「針葉樹」「常緑広葉樹」「落葉広葉樹」「竹類」「特殊樹種」の5種類です。

[準用樹木] 準用する樹木名を入力します。

登録できる樹木データ

平成20年度以降、登録できる樹種はその他樹木のみです。

平成20年度に用材林の算定方法が改定され、従来の針葉樹と広葉樹の登録機能は削除しました。

- ・その他樹木のデータファイル名 = Ot_Kys.nam
- ・登録フォルダ = プログラムのインストールフォルダ
(通常は C¥Program Files¥UL_TR2

これらのデータはテキスト型ですので、エディタ等で直接編集することもできます。先頭に“/” (半角スラッシュ) を記入すればコメント行として利用できます。

2.6 地被類等（旧・草花）データ画面

地被類等データを入力します。

このデータは平成16年度以前の「草花」に相当します。

入力データ保存後、主メニューに戻る

入力データを保存せずに主メニューに戻る

| | 地番 | 地目 | 番号 | 樹木名 | 準用名 | 面積 (m ²) | 算入 |
|----|----|----|----|----------|-----|----------------------|-------------------------------------|
| 1 | 1 | 畑 | 12 | 地被類(木本系) | | 5.000 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 2 | 1 | 畑 | 13 | 地被類(草本系) | | 5.000 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 3 | 1 | 畑 | 14 | 芝類(日本芝) | | 5.000 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 4 | 1 | 畑 | 15 | 芝類(西洋芝) | | 5.000 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 5 | 1 | 畑 | 16 | ツル性類 | | 5.000 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 6 | | | | 地被類(草本系) | | | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 7 | | | | 地被類(木本系) | | | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 8 | | | | 地被類(草本系) | | | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 9 | | | | 芝類(日本芝) | | | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 10 | | | | 芝類(西洋芝) | | | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 11 | | | | ツル性類 | | | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 12 | | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 13 | | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> |

[地番] 樹木毎の地番を入力します。空白でもOKです。

[地目] 地番毎の地目を入力します。空白でもOKです。

[番号] 樹木毎の固有な番号です。樹木の種類に関わらずに連番で入力して下さい。番号の重複、抜けはエラーチェックを行います。算定書の印刷は当番号順になります。

[樹木名] 地被類の種類を下記の中から選択します。空白は不可です。

地被類(木本系)

地被類(草本系)

芝類(日本芝)

芝類(西洋芝)

ツル性類

[面積] 面積を入力して下さい。0.0m²は不可です。

[算入] 一般データ入力画面で算入を指定した場合で、該当樹木のみ算入を行わない場合には当チェックボックスをoffにして下さい。

2.7 用材林データ画面

(1) 用材林データ入力

用材林は平成20年度以降、用対連対応のみです。群馬県起業者伐採単価は廃止されました。

入力データ保存後、主メニューに戻る

入力データを保存せずに主メニューに戻る

[大字] ~ [地番] 必要に応じて樹木毎の大字や地番を入力します。空白でもOKです。

[番号] 樹木毎の固有な番号です。当ソフトの他の樹木との関連はありませんので、任意の文字列を入力してください。他の樹木のような番号の重複、抜けのエラーチェックは行いません。

[樹種名] 用材林の種類をコンボボックスで選択します。空白は不可です。

[胸高直径] ~ [調査対象地の土地面積(㎡)] 適宜入力します。

[下刈枝打ち等の状況] 「良」 / 「否」のどちらかを選択。

「良」の場合には管理程度の補正を行いません。

[算入] 該当樹木の計算を行うか否かをチェックします。

[補償方法 伐採 / 取得] 用材林の補償算定は他の樹木のように伐採取得かを金額比較のみで自動決定しませんので、ここで補償方法を「伐採」にするか「取得」にするかを指定します。

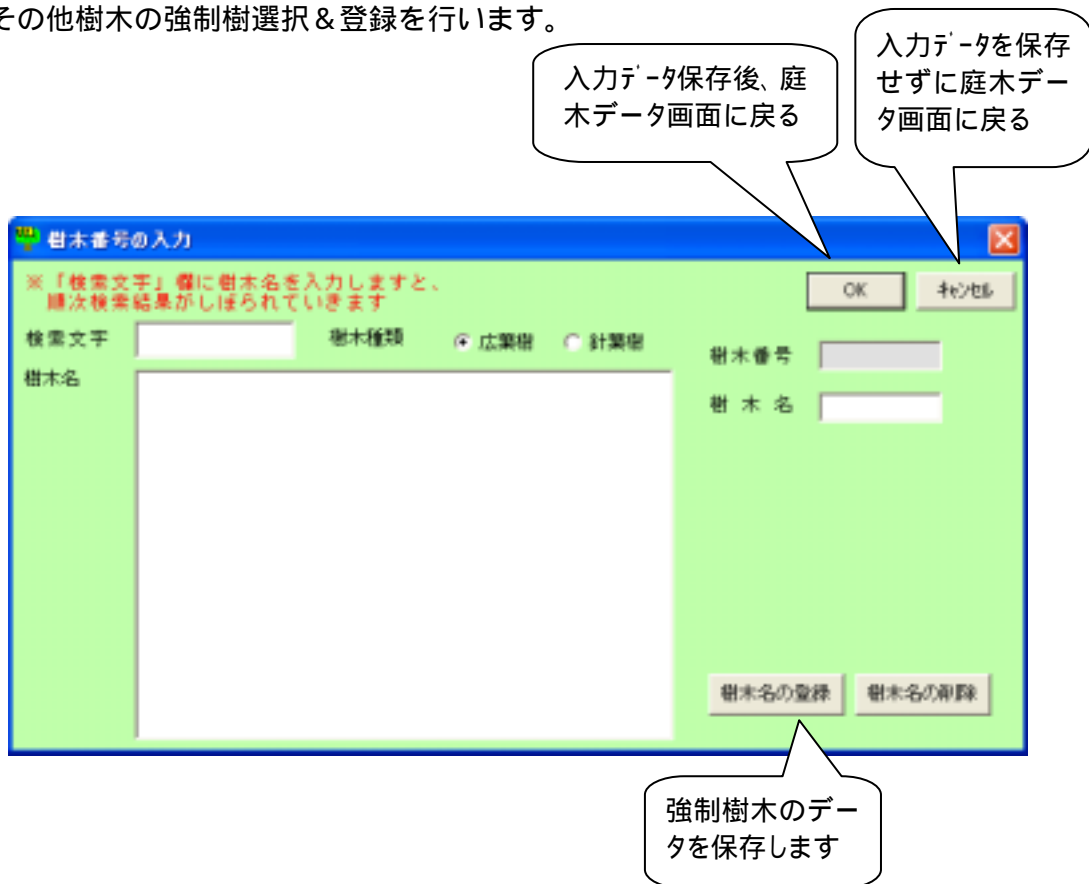
[取得の課税チェック] 取得補償の場合、課税対象とするか非課税にするかを指定します。

補償方法 伐採 / 取得 On/Off 全用材林を取得にうるか伐採にするか。

取得の課税チェック On/Off 取得補償の全用材林を課税にするか外すか。

(2) その他樹木番号入力画面

その他樹木の強制樹選択 & 登録を行います。



[検索文字] 検索する樹木名を入力します。当データを入力することにより < 樹木名 > 欄の表示が絞られます。

[樹木名] ユーザが登録した樹木名が表示されます。この時、先頭文字が[検索文字]の樹木名のみが表示されます。

表示されている樹木名をマウスで選択して下さい。選択後に、[OK]ボタンで庭木データ画面に戻った場合は庭木データ画面の樹木番号欄に樹木番号が表示されます。

[樹木番号] 登録する樹木番号が自動表示されます。(ユーザ入力は不可です)

[樹木名] 登録する樹木名を入力します。

2.8 竹林データ画面

竹林データを入力します。

入力データ保存後、主メニューに戻る

入力データを保存せずに主メニューに戻る

| | 地番 | 地目 | 番号 | 樹木名 | 面積 (m ²) | 算入 | 等級 |
|----|----|----|----|------------|----------------------|-------------------------------------|----|
| 1 | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 2 | | | | もうそう竹 (筍畑) | | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 3 | | | | もうそう竹 (竹林) | | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 4 | | | | ま竹 | | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 5 | | | | は竹 | | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 6 | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 7 | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 8 | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 9 | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 10 | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 11 | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 12 | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 13 | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | |

[地番] 樹木毎の地番を入力します。空白でもOKです。

[地目] 地番毎の地目を入力します。空白でもOKです。

[番号] 樹木毎の固有な番号です。樹木の種類に関わらずに連番で入力して下さい。番号の重複、抜けはエラーチェックを行います。算定書の印刷は当番号順になります。

[樹木名] 竹林の種類をコンボボックスで選択します。空白は不可です。

[面積] 面積を入力して下さい。0.0m²は不可です。

[算入] 一般データ入力画面で算入を指定した場合で、該当樹木のみ算入を行わない場合には当チェックボックスをoffにして下さい。

[等級] ま竹、は竹の場合のみコンボボックスで選択します。

2.9

その他樹木データ画面

その他樹木データと桑データの入力をします。

金額が0円以上の場合は種類に関わらず算定時に当単価を使用

強制樹木名の入力&選択を行う

入力データ保存後、主メニューに戻る

入力データを保存せずに主メニューに戻る

| 地番 | 地目 | 番号 | 標準名 | 樹木番号 | 樹木名 | 幹周 (cm) | 樹高 (m) | 樹齢 | 本数 (本) | 算入 |
|----|-----|----|-----|------|-----|---------|--------|----|--------|-------------------------------------|
| 1 | 115 | 1 | その他 | 0 | サクラ | 7 | 2.00 | 2 | 3.00 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 2 | 115 | 2 | その他 | 0 | サクラ | 10 | 3.00 | 3 | 5.00 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 3 | 115 | 3 | その他 | 0 | サクラ | 30 | 8.00 | 15 | 7.00 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 4 | 115 | 4 | その他 | 0 | サクラ | 50 | 8.00 | 20 | 12.00 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 5 | 115 | 5 | その他 | 0 | サクラ | 90 | 8.00 | 25 | 6.00 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 6 | | | | | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 7 | | | | | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 8 | | | | | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 9 | | | | | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 10 | | | | | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 11 | | | | | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 12 | | | | | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> |

[地番] 樹木毎の地番を入力します。空白でもOKです。

[地目] 地番毎の地目を入力します。空白でもOKです。

[番号] 樹木毎の固有な番号です。樹木の種類に関わらずに連番で入力して下さい。番号の重複、抜けはエラーチェックを行います。算定書の印刷は当番号順になります。

[樹木名] その他樹木の種類をコンボボックスで選択します。空白は不可です。

[胸高直径] 胸高直径の値をcmで入力して下さい。0.0cmは不可です。

[樹高] 樹木の高さを入力して下さい。0.0mは可です。

[樹齢] 桑データの算定時に使用します。強制単価が1円以上であればそちらを優先させます。

[本数] 該当樹木の本数を入力して下さい。0本は不可です。

[算入] 一般データ入力画面で算入を指定した場合で、該当樹木のみ算入を行わない場合には当チェックボックスをoffにして下さい。

その他樹木の伐採補償費単価の選択方法は平成20年度に改定になりました。

2.10 植込畑のデータ画面

2.10.1 仮植立木データ画面

仮植立木データを入力します。

| | 地番 | 地目 | 番号 | 樹種 | 樹木名 | 根廻り(cm) 幹周(cm) | 樹高 (m) | 葉張 (m) | 本数 (本) | 算入 | 構内 構外 |
|---|----|----|----|----------|-----|-------------------|-----------|-----------|-----------|-------------------------------------|----------|
| 1 | | | | | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | 構外 |
| 2 | | | | | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | 構外 |
| 3 | | | | 苗木移植物 | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | 構外 |
| 4 | | | | 苗木移植物 | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | 構外 |
| 5 | | | | 苗木移植物 特殊 | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | 構外 |

入力データ保存後、主メニューに戻る

入力データを保存せずに主メニューに戻る

- [地番] 樹木毎の地番を入力します。空白でもOKです。
- [地目] 地番毎の地目を入力します。空白でもOKです。
- [番号] 樹木毎の固有な番号です。樹木の種類に関わらずに連番で入力して下さい。番号の重複、抜けはエラーチェックを行います。算定書の印刷は当番号順になります。
- [樹木番号] 植込畑の仮植立木の種類をコンボボックスで選択します。空白は不可です。
- [樹木名] 樹木名を入力して下さい。
- [根廻り] 根本周の値をcmで入力して下さい。0.0cmは不可です。
- [樹高] 樹木の高さを入力して下さい。0.0mは可です。
- [葉張] 樹木の枝張りを入力して下さい。0.0mは可です。
- [本数] 該当樹木の本数を入力して下さい。0本は不可です。
- [算入] 一般データ入力画面で算入を指定した場合で、該当樹木のみ算入を行わない場合には当チェックボックスをoffにして下さい。
- [構内・構外] 一般データ入力画面で指定した移植形態と異なる場合に指定します。

2.10.2 育成畑データ画面

育成畑データの入力をします。

| | 地番 | 地目 | 番号 | 樹種 | 樹木名 | 根廻り (cm) 幹廻り (cm) | 樹高 (m) | 葉張 (m) | 本数 (本) | 算入 | 構内 構外 |
|---|----|----|----|-----|-----|----------------------|--------|--------|--------|-------------------------------------|----------|
| 1 | | | | | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | 構外 |
| 2 | | | | | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | 構外 |
| 3 | | | | 苗木 | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | 構外 |
| 4 | | | | 移植物 | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | 構外 |
| 5 | | | | 玉物 | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | 構外 |
| 6 | | | | 特殊 | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | 構外 |

[地番] 樹木毎の地番を入力します。blankでもOKです。

[地目] 地番毎の地目を入力します。blankでもOKです。

[番号] 樹木毎の固有な番号です。樹木の種類に関わらずに連番で入力して下さい。番号の重複、抜けはエラーチェックを行います。算定書の印刷は当番号順になります。

[樹種] 植込畑の育成畑の種類をコンボボックスで選択します。blankは不可です。

[樹木名] 樹木名を入力して下さい。

[根廻り] 根本周の値をcmで入力して下さい。0.0cmは不可です。

[樹高] 樹木の高さを入力して下さい。0.0mは可です。

[葉張] 樹木の枝張りを入力して下さい。0.0mは可です。

[本数] 該当樹木の本数を入力して下さい。0本は不可です。

[算入] 一般データ入力画面で算入を指定した場合で、該当樹木のみ算入を行わない場合には当チェックボックスをoffにして下さい。

[構内・構外] 一般データ入力画面で指定した移植形態と異なる場合に指定します。

2.10.3 床物・苗木類データ画面

床物・苗木類データの入力を行います。

入力データを保存後、主メニューに戻る

入力データを保存せずに主メニューに戻る

| | 地番 | 地目 | 番号 | 樹木名 | 本数(本) | 面積(m ²) | 算入 | 構内 構外 |
|---|----|----|----|-----|-------|---------------------|-------------------------------------|----------|
| 1 | | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | 構外 |
| 2 | | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | 構外 |
| 3 | | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | 構外 |
| 4 | | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | 構外 |
| 5 | | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> | 構外 |

[地番] 樹木毎の地番を入力します。空白でもOKです。

[地目] 地番毎の地目を入力します。空白でもOKです。

[番号] 樹木毎の固有な番号です。樹木の種類に関わらずに連番で入力して下さい。番号の重複、抜けはエラーチェックを行います。算定書の印刷は当番号順になります。

[樹木名] 樹木名を入力して下さい。

[本数] m²当たり本数を入力して下さい。0本は不可です。

[面積] 面積を入力して下さい。

[算入] 一般データ入力画面で算入を指定した場合で、該当樹木のみ算入を行わない場合には当チェックボックスをoffにして下さい。

[構内・構外] 一般データ入力画面で指定した移植形態と異なる場合に指定します。

2.11 収穫樹データ画面

収穫樹データの入力をします。



- [地番] 樹木毎の地番を入力します。空白でもOKです。
- [地目] 地番毎の地目を入力します。空白でもOKです。
- [番号] 樹木毎の固有な番号です。樹木の種類に関わらずに連番で入力して下さい。番号の重複、抜けはエラーチェックを行います。算定書の印刷は当番号順になります。
- [樹木名] 収穫樹の樹木種類を選択して下さい。
- [準用名] 樹木名と品種が異なる場合は、その名称を入力して下さい。
- [幹周] 根本周の値をcmで入力して下さい。0.0cmは不可です。
- [樹令] 樹令年数を入力して下さい。0年は不可です。
- [本数] 本数を入力して下さい。0本は不可です。
- [算入] 一般データ入力画面で算入を指定した場合で、該当樹木のみ算入を行わない場合には当チェックボックスをoffにして下さい。
- [構内・構外] 一般データ入力画面で指定した移植形態と異なる場合に指定します。
- [栽培場所] 園地栽培と散在樹をコンボボックスで選択して下さい。
- [強制単価] 強制単価を入力して下さい。0円の場合は標準単価を使用します。
- [課税対象額単価] 強制単価の課税対象額単価を入力して下さい。強制単価が1円以上入力されている場合に有効になります。

2.12 茶データ画面

茶データを入力します。

| | 地番 | 地目 | 番号 | 樹木名 | 樹齢 | 長さ (m) | 算入 |
|---|----|----|----|--------|----|--------|-------------------------------------|
| 1 | | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 2 | | | | 畦畔茶 | | | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 3 | | | | 生葉売茶園 | | | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 4 | | | | 自園自製茶園 | | | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 5 | | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 6 | | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 7 | | | | | | | <input checked="" type="checkbox"/> |

[地番] 樹木毎の地番を入力します。空白でもOKです。

[地目] 地番毎の地目を入力します。空白でもOKです。

[番号] 樹木毎の固有な番号です。樹木の種類に関わらずに連番で入力して下さい。番号の重複、抜けはエラーチェックを行います。算定書の印刷は当番号順になります。

[樹木名] 茶の種類を選択して下さい。

[樹令] 樹令を入力して下さい。0年は不可です。

[長さ] 長さをmで入力して下さい。0.0mは不可です。

[算入] 一般データ入力画面で算入を指定した場合で、該当樹木のみ算入を行わない場合には当チェックボックスをoffにして下さい。

3 印刷帳票

算定結果はマイクロソフト社のEXCELのテンプレートファイルに出力（エクスポート）されます。サイズはA4横を基準にしています。

EXCEL表示後は、通常のEXCEL操作と変わりありませんので、編集や印刷、各種設定を自由に行うことができます。

印刷する帳票は下記の5種類で、それぞれEXCELのシートに出力されています。

立竹木補償額算定書

立竹木補償単価認定書

立竹木補償料総括表

用材林調査表（平成20年度版以降）

用材林補償額算定書（平成20年度版以降）

（1）テンプレートファイル

使用するテンプレート名は下記の通りで、アプリケーションのフォルダに入っています。

「立竹木補償_Templet_H##.XLS」

（##は平成20年度以降はその年度、平成17～19年度は17、それ以前は16です）

ただし、地区によって、別のテンプレートファイルを使用する場合があります。

テンプレートファイルをお客様が自由に編集することもできますが、行や列を任意に追加しますと、当ソフトウェアが出力しているセル位置がずれますので、支障のない範囲で編集してください。編集する場合は当システムのオリジナルのテンプレートを別途保存しておく事をお奨めします。

（2）EXCELファイル名

算定結果のEXCELファイル名は下記の通りで、保存場所の初期値はお客様のデータフォルダになっています。

“立竹木調査及び算定表_” + お客様の入力データ名 + “.xls”

用材林調査表

用材林補償額算定書

立竹木補償単価認定書について

この帳票は、入力された樹木データの中に該当樹木があった場合、自動的に出力され、これを印刷するための特別な入力データはありません。

算出手順は下記の通りです。

手順1 : 算定年度が17年度以降でかつ樹木の移植補償単価に*印があるか、あるいは「生垣」か？

手順2 : **手順1**に該当する場合、「廃材処分費を加算する場合の伐採補償費：P6」を下記手順で計算。

P1 : 廃材処分費を加算しない場合の1本当たり伐採費（歩掛編から）

P2 : 廃材運搬費

$P2 = 1 \text{台あたり運搬単価(円)} / 2\text{t車1台あたり積載本数}$

1台あたり運搬単価(円)、2t車1台あたり積載本数は歩掛編から。

P3 : 廃材受入費

$P3 = (1 \text{m}^3 \text{あたり廃材受入費(円)} / \text{地区別補正率}) \times 1 \text{本あたり廃材容量(m}^3)$

1m³あたり廃材受入費(円)、1本あたり廃材容量(m³)は歩掛編から。

P4 : $(P1 + P2) \times 1.2 + P3$

P5 : 樹価

P6 : 伐採補償費 = P4 + P5

手順3 : **手順2**で算出した伐採補償費と移植補償費を比較して、安価な方を補償単価とし、以上の経緯を当「認定書」に列挙する。

伐採補償費と移植補償費が同額の場合には、移植費を採用します。

該当した樹木に付いては「立竹木補償額算定書」の各樹木の「備考欄」のページ番号の右端に#マークが記されています。

使用する単価ファイルは下記の通りです。

| | |
|------------|---------------------------------|
| 高木、風致木、特殊樹 | : TankaFolder & "伐採費基準表_高木.dat" |
| 玉物 | : TankaFolder & "伐採費基準表_玉物.dat" |
| 株物 | : TankaFolder & "伐採費基準表_株物.dat" |
| 生垣 | : TankaFolder & "伐採費基準表_生垣.dat" |

4 機能とその変遷

この項は、当ソフトウェアの機能の変遷を概略記述したものです。

庭木類で単価表に管理状況に応じた単価が掲載されていない場合の処理：

当システムでは、庭木類で単価表に管理状況に応じた補償単価（P）が掲載されていない場合は、下式で移植補償費と伐採補償費を求め、金額の安い方を補償費としています。更に、「伐採」で決定した場合には、前項に従って「廃材処分費を加算する場合の伐採補償」を計算します。

移植補償費

Pt：単価表における樹価（*）

Cd：単価表における枯損率（%）

Pm：移植費（構内/構外別）

Ck：管理状況による補正率

$$P = Pm + Pt \times Ck \times Cd / 100$$

伐採補償費

Pt：単価表における樹価（*）

Pc：伐採費（構内/構外別）

Ck：管理状況による補正率

$$P = Pc + Pt \times Ck$$

ここに Ck = 1.2（良い） 1.0（やや良い） 0.8（普通）

（*）単価表に樹価がない場合には、最大径以上は最大径の価格、最小径以下は最小径の価格を自動算出します。

移植の適否：平成16年度以前は、移植の月（入力データ）と各樹木の移植適期（当システムで樹木ごとに設定）を考慮して「適」「否」を決定していました。

平成17年度以降は、各樹木が最終的に「移植単価」で補償したか、「伐採単価」で補償したかでそれぞれ「適」「否」を決定します。

入力画面からも移植月は削除しました。

「根廻り」と「幹周」：平成16年度以前の庭木（高木、風致木）データを使用するとき、平成16年度版の算定要領の変更に伴い「根廻り」を1.5で除して「幹周」に変換する機能が加わりました。

常緑株物、落葉株物：平成16年度以降、これらは「株物」に統一しました。

「ふじ」について：平成16年度以前の単価表では「高木」「風致木」に分類されており、平成17年度では「特殊樹」に分類されましたが、単価表における単価の持ち方が「高木」類と同様ですので、当ソフトウェアでは従来通り「高木」、「風致木」と同一分類の算定を行っています。

廃材処分費を加算する場合の伐採補償：平成17年度以降、対応しています。

樹高、葉張の単位：平成17年度以降「cm」で表示します。以前は「m」でした。ただし、入力は従来通り、「m」で入力します。

立竹木補償額算定書の様式：平成17年度版で様式を変更しました。

庭木の本数・株数又は面積の少数以下の桁数：平成17年度以降、単位が「m」あるいは「m²」の場合には、少数以下の桁数を2桁にしました。従来は全て整数でした。

地区別補正係数：平成17年度以降、工作物補償と別個の係数として扱っています。

地被類等：平成17年度以降「草花」は「地被類等」に変更になりました。
 地被類等(旧草花)で「ツル性類」の移植単価は掲載されていません。
 当ソフトでは、「ツル性類」は移植は困難とし、単価は無条件に樹価を使用し、「移植の適否」は「否」としています。

平成20年度版での変更

- ・その他の樹木の伐採補償費単価：単価の選択方法が変更になりました。
- ・用材林補償：平成20年度以降、用材林の補償算定方法が大幅に変わりました。
- ・樹木の登録：平成20年度版では、ユーザ登録できる樹種は「その他の樹木」のみです。これは、用材林の算定方法が平成20年度に改定され、従来の針葉樹と広葉樹のユーザ登録機能が不要になったためです。
- ・庭木と用材林のMAX=600に拡張。

旧年度機能を削除

下記の旧年度機能は、使用頻度が減ったためとソフトを軽くするために削除しました。

- ・2003年度（平成15年度）以前の機能。
- ・平成16年以前のデータ変換機能（「幹周 = 根周り ÷ 1.5」）。
- ・埼玉県の特典機能。
- ・群馬県起業者単価検索機能。

立竹木補償調査算定システム TR Ver 2.2 操作マニュアル

| | | |
|--------|-------|------------------|
| R1.00 | 初 版 | 平成 13 年 12 月 1 日 |
| R2.10 | 第 2 版 | 平成 17 年 6 月 30 日 |
| R2.10 | 第 4 版 | 平成 18 年 6 月 20 日 |
| R2.20a | 第 5 版 | 平成 20 年 8 月 20 日 |
| R2.20c | 第 6 版 | 平成 21 年 7 月 6 日 |

著作・発行 株式会社 ユーアイ技術情報

TEL 0270-23-9711

FAX 0270-23-9611

メール： webmaster@youi-tec.co.jp

ホームページ： <http://www.youi-tec.co.jp/>
